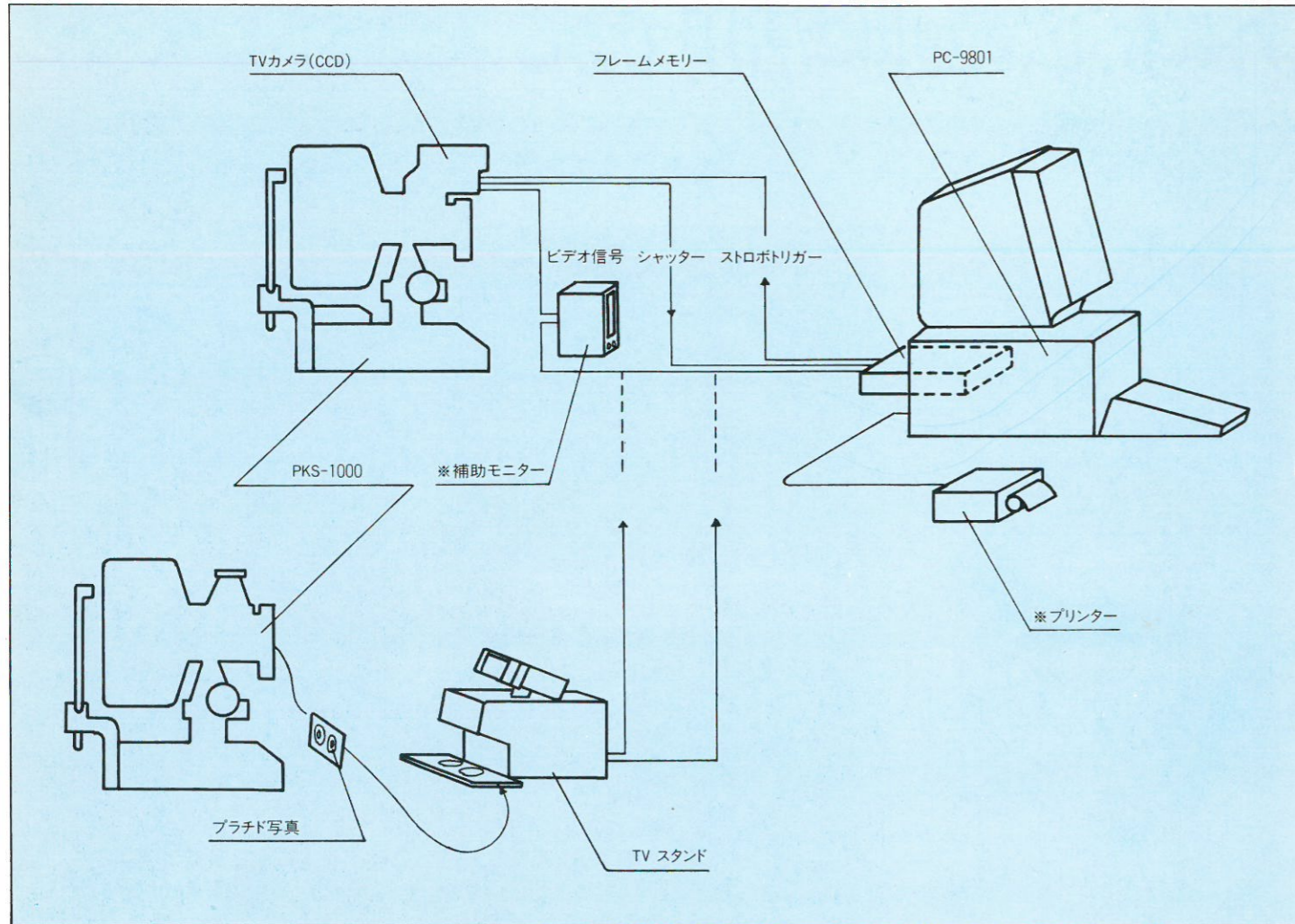


システム構成



※プリンター、補助モニター、コンピュータ用ラック、光学台はオプションです。

仕様

	PHORM 200	PHORM 100
TVカメラ	CCD固体カメラ	
フレームメモリ	256×256×5 bit	
使用パーソナルコンピューター	NEC-PC9800シリーズ	
その他の主な構成部品	PKS-1000へのとりつけ部品	カメラ・スタンド
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●リアルタイム処理が可能 ●測定領域は角膜上約7mmφ ●写真撮影は従来通りに可能 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真解析システム ●画像処理システムとしての利用が可能

株式会社 **サンコンタクトレンズ**

本社/〒604 京都市中京区寺町通御池下ル508
電話(075)221-6861(代表)(木村ビル)

開発部 (075)351-5125代
営業所/京都(075)221-7861代 大阪(06) 315-8861代
神戸(078)391-8261代 福岡(092)481-2761代
東京(03) 332-9201代

コンタクトレンズのオートデザインシステム

PHORM 200 & 100

クリニックの能率アップとイメージアップを一挙にこなす、画期的システム、登場。



 **サンコンタクトレンズ**

角膜の解析からコンタクトレンズのデザイン決定まで、わずか10秒。待望のシステム、PHORM 200。

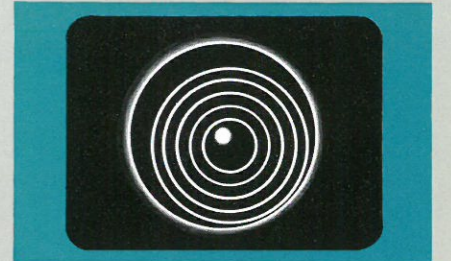
ひとりひとりの目にあう
コンタクトレンズを
正確に、スピーディに
決定するPHORM 200。

従来、コンピュータによるコンタクトレンズのデザイン決定は、角膜の撮影→解析センターでの精密解析→その結果に基づくデザイン決定、という手順。が、これには、正確だが時間がかかる難点がありました。この問題を解消したのがPHORM 200です。つまりフォケラトスコープ (PKS:角膜撮影機)とコンピュータ解析装置を直結、角膜の精密解析からデザイン決定まで、わずか10秒というスピードを実現。時間的なロスや手間を省き、患者さんへの説得性も高める。クリニックの能率アップとイメージアップを同時にこなす、まさに待望のシステムです。正確かつスピーディに、オーダーメイドのコンタクトレンズを決定したい。そう願うサンコンタクトレンズ技術陣、自信の成果、それがPHORM 200です。



簡単な操作で、必要な情報が
リアルタイムで表示されます。

操作はきわめて簡単。モニターTVのセンターマークにリングを合わせ、ピントを出してボタンを押すだけ。約10秒後には画面上に、以下のような情報を表示。もちろんプリントアウトも可能です。



中心部曲率半径

角膜の正確な曲率半径を表示。

全体形状の特徴

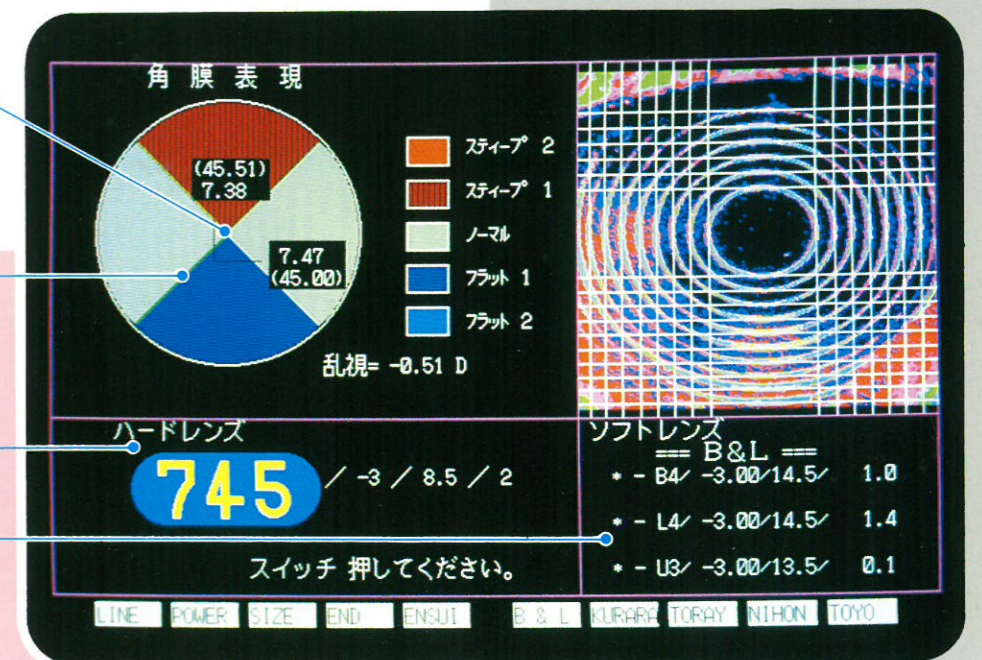
色わけ表示されるので、患者さんへの説明もわかりやすい。

ハードレンズのデザインに関するデータ

個々の角膜のかたちに正確にマッチ。

ソフトレンズのデザインに関するデータ

下部のファンクションキーを押すと、表示される。



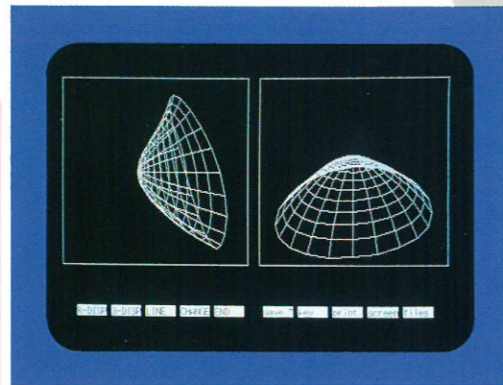
PHORM 200には、写真解析システムを
5年間運用してきたノウハウが盛り込まれています。

センターで解析してデザイン決定する、従来のシステムを運用して5年。その間、400台のフォケラトスコープ (PKS) により20万眼を解析したノウハウを蓄積しました。そのすべてが、このPHORM 200に盛り込まれています。

ハードでもソフトでも、あらゆる種類の
コンタクトレンズのデータが引き出せます。

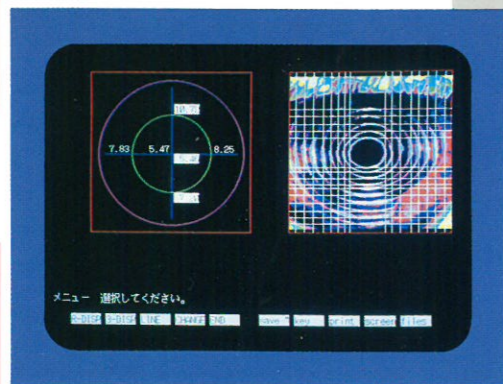
酸素透過性を含むあらゆる種類、あらゆる直径の各社ソフトレンズと各社ハードレンズ (但し、ベベルデザインを指定できることが必要) のデータを引き出すことができます。

以外にも、広範囲に活用できる、価値あるシステム。



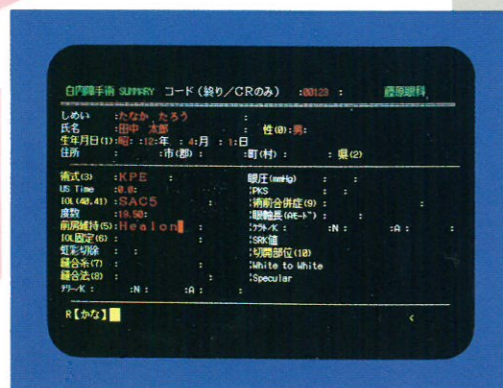
角膜の立体表示

手術後の、精密な角膜形状の評価に。
任意の角度から眺めた角膜形状の立体図や、その動画などを表示。中心曲率に加え、非球面係数などによる総合的な定量評価ができます。



曲率半径の分布

患者さんへの、わかりやすい説明に。
角膜の色わけ表示や立体表示など、コンピュータの画面を見ながら、具体的にわかりやすいデータを用いて説得力のある説明ができます。



手術データの記録

パソコン機能を生かし、多用途に。

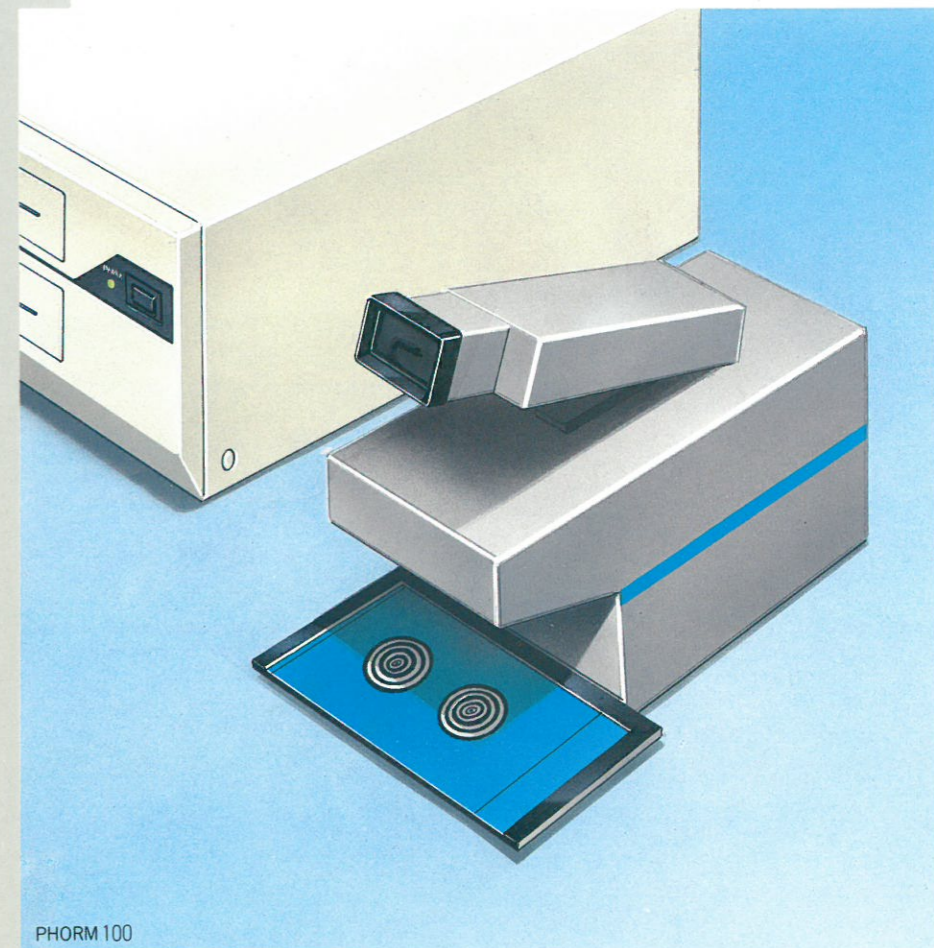
- 手術データの記録や、カルテの管理。
- ワープロで、いろんな書類の作成。
- 外部データベースと結合して、文献の検索。などなど、多用途に。

記録したい角膜は、そのままインスタントフィルムに。

従来のフォトケラトスコープ (PKS-1000)と同様、シャープで撮影範囲の広いプラチド写真が撮れます。インスタントフィルムを用いますから結果はその場でごらんになれます。

PHORM 200のほかに、写真から読みとるPHORM 100もご用意。

フォトケラトスコープ (PKS) はクリニックに、パソコンはオフィスに、とPHORM 200のコンポーネントが離れてしまう場合は、PHORM 100をおすすめします。パソコンの脇に小さなスタンドを置くだけで、写真ベースの解析装置になります。使い方はPHORM 200とほぼ同じ。



PHORM 100

お手持ちのフォトケラトスコープ (PKS-1000) は、そのままご活用いただけます。

すでにフォトケラトスコープ (PKS-1000) をお持ちの場合は、PHORM 200への改造が可能です。詳しくは、当社営業所にお問い合わせください。



PKS 1000へ装着するオプション

